

平成 29 年度 麻布大学教育セミナー in 静岡

開催概要

◎開催概要

- ・日時：平成 29 年 7 月 9 日（日）13：00～17：00／セミナー（参加費無料）
17：15～ ／情報交換会（会費制）
※受付開始は、12 時 15 分から
- ・会場：中島屋グランドホテル（静岡市葵区紺屋町 3-10）
（JR 静岡駅北口…徒歩約 5 分）
- ・対象者：一般の方、小動物臨床獣医師、
動物・食品・環境衛生・健康に関わる職域で働く方や関連学校出身者、
卒業校は問わず、どなたでも参加可能です。

◎プログラム概要

セミナー① 13：00～17：00

ヒトと動物の新しい共生科学

■13:00～16:35

1ー動物共生科学、という新しい概念

動物応用科学科では、動物生命科学と動物人間関係学という 2 つのコースに分かれて教育してきましたが、これを統合し、動物共生科学という枠組みで動物生命実践的ジェネラリストを育成しようと考えています。

大木 茂（麻布大学動物資源経済学研究室 教授）

2ー「家畜化」というヒトと動物の共生の歴史

ヒトは様々な野生動物の家畜化を試みてきましたが、そのすべてを家畜化できたわけではありません。本セミナーでは、ヒトと共生関係をもつ家畜を年代順にとりあげるとともに日本人が家畜化した動物例もご紹介します。

戸張 靖子（麻布大学動物資源育種学研究室 講師）

3ーヒトとイヌ 共生が生み出した特別な関係

人と犬は進化、家畜化の過程で特別な関係性を構築してきました。お互いの理解を超えて、情緒的な絆がりも可能とする、この 2 つの動物の関係を紐解きます。

菊水 健史（麻布大学伴侶動物学研究室 教授）

4-ペットフレンドリーなコミュニティの条件

歯周病にはヒトからイヌに伝染るものがあることをご存知でしょうか。ヒトとイヌに共通する歯周病菌や飼い主の生活、ドッグパークのルールなどから、「ペットフレンドリーなコミュニティ」考えましょう。

大倉 健宏（麻布大学地域社会研究室 准教授）

■16:35～17:00

総合討論

セミナー② 13:00～17:00

暮らしの中の水、身体の中の水

■13:00～16:50

1-健康で快適な暮らしと水質汚染 —化学物質が作る安全と危険—

私達が使っている様々な化学物質。安全・快適な暮らしを創るための便利な物質ですが、使い方を誤ると本来の目的とは異なる問題が発生することをご存知ですか？生活系化学物質の使用目的と危険についてお話しします。

稲葉 一穂（麻布大学水環境学研究室 教授）

2-水道水に潜むマイクロな世界

高い安全性で知られている日本の水道水の中にも、マイクロな生物（=微生物）が残存しています。本セミナーでは、水道水で問題となる微生物を取り上げ、安全な水利用方法について考えます。

大河内 由美子（麻布大学水環境学研究室 准教授）

3-食と健康にかかわる水のはたらき

食品の組織や品質は水の存在下で変化します。動植物体内では、水は化学反応の場を提供し、ヒトの生命と健康維持に不可欠の存在です。セミナーでは食と健康に関連する水のはたらきについて様々な話題を取り上げます。

良永 裕子（麻布大学食品分析化学研究室 教授）

4-身体（からだ）からの水で健康を測る—体液は心身の状態を映す鏡になれるか？—

健康と病気の違いを調べる検査には、生体検査と検体検査の二つがあります。今回は、心電図や超音波による生体検査と異なり、色々な方法で採った体液を特定の方法で調べ健康状態を把握する検体検査についてお話しします。

高木 邦明（麻布大学衛生学研究室 教授）

■16:50～17:00

質疑応答

セミナー③ 13:00~17:00

附属動物病院における獣医療

1ー動物における放射線治療の現状

麻布大学で放射線治療を始めてから15年目になります。これまでの経験を踏まえ、治療成績をお話しするとともに、鼻腔腫瘍に対する光線力学療法、自壊した腫瘍に対するモーズペーストについてもお話しします。

圓尾 拓也（麻布大学附属動物病院 講師／腫瘍科担当）

2ー獣医整形外科学的疾患に対するアプローチ法

本学附属動物病院整形外科において、高頻度に遭遇する疾患は、膝関節疾患が圧倒的に多く、次いで股関節疾患です。本講演では、我々の施設で実際に採用・実施している整形外科学的疾患に対するアプローチ法と高頻度に遭遇する疾患について概説します。

藤田 幸弘（麻布大学附属動物病院 講師／整形外科担当）